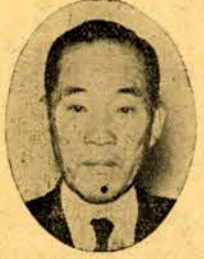


第9回国体 柔道競技会迫る



所 役 所
行 人 正 所
集 行 人 正 所
小 編 集 行 人 正 所
新 編 集 行 人 正 所
ナハ印刷株式会社



晴れの國体を迎えて

参加選手を暖かく送迎される
よう御協賛を願います

苫小牧市長 田中正太郎

国民的スポーツの祭典としての第九回国民体育大会が全道七市を開催地として、両陛下をお迎えして八月二十二日の開会式を皮切りとして二十五日まで、若草小学校を会場として、柔道の部が行われることになりました。実に喜びに堪えないところであり、柔道部は、日本全国各地の選手、役員のみならず、約八百名の多きに達し、それに視察員等を加え、これに観望者を加えると、けだし莫大な数に達するものとおもわれます。これらの方々が親しく、当市に宿泊して実際に当市の気風に接するのだから、市民の皆様に暖かく迎えて下さいますよう、衷心から希望申上げ次第であります。本大会を盛大に終了致しますよう市民皆様の絶大な御協賛を願ってやみませ



柔道 八月23日 苫小牧市

己を完成し世を裨益する

大会開催に際し市民皆様へお願い
北海道柔道連盟会長 早川昇



愈々北海道民待望の第九回国民体育大会は、来る八月二十二日より全道各地において各種の競技が実施せらるゝ事になり、本市に於ては柔道大会が二十三日より二十五日まで若草小学校を会場として行われる事になりました。是は、本市に於ては、柔道の部が初めて行われる事になり、市民皆様の御協賛を願ってやみませぬ。この意味からして今回の柔道大会も甚だ意義あるものと思われ、是非とも万端滞りなく大会を終了したく、これがために市民各位の絶大な御協賛を願うことになり、その成果を挙げることが出来ないと存じます。遠くは九州の最南の地などより各選手が来道し始めて見る北海道、苫小牧市について種々の印象を受け、その印象が延びては北海道全般の事に及ぼす事と思われ、選手一同に對して好印象を抱かせるような市民皆様の御協賛を御願ひ、致し度いと存じます。

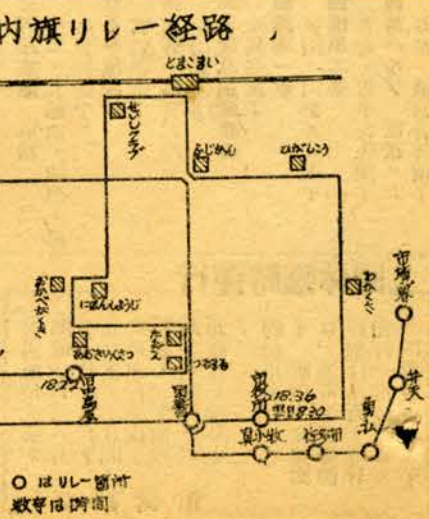
聖炎旗通る

八月十二日午後六時市内一巡
八月十三日午前八時半 出發

第九回国民体育大会、目前に迫ってきましたが、大会は七月八日前年開催地である四国愛媛縣前を出発し、延々四千軒に及ぶ距離をよそ三万五千人の隊員によりつてリレーされ、八月二十二日札幌山手競技場の開会式場に至り、第九回国民体育大会の幕は切つておとされることになりました。苫小牧市には八月十二日午後四時十分白老青年隊から引継がれた大会旗が入り、翌十三日午前八時三十分市役所前を出発、十時半には安平村との境界で安平村隊員に引継がれます。社合から安平境まで、三十七軒余を中学生、高等学校生、青年隊員、スポーツ関係役員、一般人等十二隊に分れたおよそ二百五十人の隊員により、国民のスポーツ祭典といわれる聖光の国体大会旗はリレーされます。市民各位の絶大な御協賛を願ひ、御禮を願ひます。

旗リレー・隊編成・経路・通過時刻

引継点	出発時刻	隊編成
社合駅前	16.13	第1隊 (隊長近江謙三他20名・樽前中学)
樽前橋	16.30	第2隊 (隊長佐々木孝一他20名・樽前一般)
錦岡駅前	16.55	第3隊 (隊長鎌田薫他19名・錦岡一般)
錦岡渡辺橋	17.18	第4隊 (隊長高岡賢実他19名・錦岡中学)
糸井駅前	17.34	第5隊 (隊長山城宏他19名・市内高校)
中央院前	17.59	第6隊 (隊長坂田光義他19名・柔道・スケート選手)
国警前	18.10	第7隊 (隊長池田チサ他17名・高校女子)
旧中嶋屋前	18.22	第8隊 (隊長伊藤直也他20名・各種スポーツ選手)
市役所	18.36	到着したなら直ちに式典を市役所前で行い、一泊する。
市役所	8.30	第9隊 (隊長西東正雄他19名・東西中学)
真小牧	8.53	第10隊 (隊長村田均他19名・陸協その他)
佐多布	9.21	第11隊 (隊長山田悦造他19名・国策職員)
国配船前	9.48	第12隊 (隊長笠松清治他19名・勇弘中学)
辨天	10.08	第13隊 (安平村青年隊)
市境界	10.35	



国民スポーツの祭典 國体

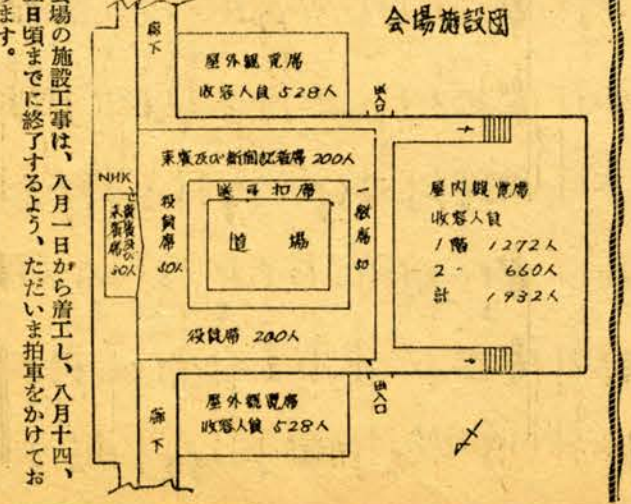
暖かい心で参加選手を迎えましょう

第九回国民体育大会は、四十六都道府県代表、一般及び高等学校生およそ四百七十名の参加選手によつて華々しく、その技が競われますが、競技実施のあらまは、次のとおりであります。

柔道競技華々しく開く

八月二十三日(月)二十三日間 若草小学校体育館

一、会場 苫小牧市若草小学校体育館
二、期日 八月二十三日(月)二十三日間
三、試合方法 点取トーナメント方式で、これは五名のうち勝星の多いチームが勝進んでゆく方法です。
四、参加選手編成 一般の部は大学生を含み一チーム監督一名選手五名で編成されております。選手はA級(五段以上)を行います。
B級(四段)C級(三段)D級(二段又は初段)E級(大学生)の各級に分れ編成されております。
五、参加府縣及び選手役員 決定次第、お知らせする様に致します。





国民体育大会は昭和二十一年、終戦後の国民の消沈した氣力をスポーツによって高揚しようとする目的で、高松市において開催された。この時、日本体育協会は、戦前に行われていた明治神宮体育大会の精神を継承し、より進歩的な性格を清算し、新らしい観念に立つて、明朗な国民生活を培い、スポーツの良き基礎を育てることを目的として開催された。

昭和二十二年、聖炎の回を重ねること九回、聖炎の下、全国各道府県を代表する精銳な選手が集つて、我が国最大のスポーツ祭典として、年々盛大に行われてきた。

昭和二十一年 近畿大会 二十五
競技種目 五、三、七、七
参加人員 五、三、七、七

戦災をまぬがれた京都市を中心として、戦後の人心の虚脱と極度の疲弊、幾多の困難を排して近畿地方の各地で開催された。

全国的行事は到底催し得ないものと思ひこんでいた当時、関係者によつてこの大会が立案に遂行されたことは、いかに清新な氣風を国民にあたえ、力強い自信を建設の意欲をふるいおこす大きな力になつた。

昭和二十二年 北陸大会 二十二
競技種目 四
参加人員 一、四、一、六、二

石川縣を以て中心に開催された。金沢を中心に開催された。競技の形式も各道府県に對抗改められ、各県に國民体育大會として機構を整え、この回以降全国的に普及して誘致運動を展開す

明るく正しいスポーツの普及



国民体位の増進生活の明朗化

天皇陛下の臨場は望めなかつたが、高松宮殿下の御成りがあり、回を重ねて育つてきた秩序が大会を厳肅な日頃の集積の集積が遺憾なく發揮された。

昭和二十四年 関東大会 二十七
競技種目 一、五、五、〇、五
参加人員 一、五、五、〇、五

東京、神奈川、埼玉、千葉、山梨の四縣を会場に行われた。

開會式は従来の例を破つて十月三十日夕刻、明治神宮外苑に天皇、皇后両陛下を迎え、夕陽の中に幾千のたいまつが燃え、花火の打上げられる絢爛たるうちに入場行進をくりひろげた。

七月下旬小樽に於てヨット競技、旭川に於て山岳大会のシンボル聖炎旗は四国松山を發して本州を横断し、八月二十二日札幌市円山陸上競技場に天皇、皇后両陛下を迎えて秋季大会の開會式を行う。

札幌市 射撃、自転車、相撲、水球、体操、蹴球、軟式野球(一般A)、馬術、バドミントン、フットボール、ホッケー、ラグビー、陸上競技の十四種目。

小樽市 ウエイトリフティング、弓道、軟式野球(一般B)、パレーボールの四種目。

旭川市 卓球、軟式野球、レスリングの三種目。
札幌市 蹴球、ソフトボールの二種目。
美幌市 高校軟式野球、ボクシングの二種目。
函館市 高校野球、ハンドボールの二種目。
苫小牧市 柔道。

以上の各種目が夫々郷土の榮譽をかけて技を競う選手一、〇〇〇名によつて展開されるのである。

冬季大会を日光(スケート)、小樽(スキー)で開催、夏季大会の水上競技を宇都宮、ヨットを松島灣で、秋季大会は福島、宮城、山形三縣の各地を会場に行われ、この大会から沖繩が始めて参加した。

昭和二十七年 東北大会 三十二
競技種目 二、〇、〇、〇、〇、〇
参加人員 二、〇、〇、〇、〇、〇

冬季大会を日光(スケート)、夏季大会の水上競技を宇都宮、ヨットを松島灣で、秋季大会は福島、宮城、山形三縣の各地を会場に行われ、この大会から沖繩が始めて参加した。

協賛行事きまる 歓迎國体選手 市民各位の御協力を

国体の開會に當り協賛會では、役員及び選手が家郷を遠くはなれて、遙かな北辺の地にきてゐることを考え、その旅情を慰めるべく次のようなことを計画してあります。

一、記念品の贈呈
選手、役員の方々には道全体に通ずる記念品に併せて苫小牧市をよくシンボルライズしたたるべき記念品を贈呈する。

二、慰安行事
二十二日、選手、役員を招待し国体選手歓迎の夕會を開催する。

二十三日、郷土色を盛つた吹奏楽団の市中行進並に演奏会を行う。

二十四日、假裝行列その他により旅情を慰めるとともに苫小牧市の宣伝を含めた行事を行う。

花火大会を前夜で催す。
三、街全体の裝飾
(1) 歓迎塔、アーチ、小旗、提灯等によつて街の美化を図る。
(2) 露全体の裝飾については、ホーム、待合室等、国鐵自体のものも、タイアップして裝飾する。
(3) 選手の到着する日は花火に歓迎ビラを挿入して打揚げる。
(4) 車輛全体に小旗等を掲げるようにする。



國体讃歌
作詞 加藤惠津朗
作曲 飯田 信夫

(一)
大雪山のかげやく朝
榮光の旗なびかせて
美わしの力の祭典
おおらかにいま花ひらく

(二)
北海道ののどりの大地
ふみしめてさざめける勝利
感激の玉座を見よや
若人のあふれる生命
謳わん いざ晴れの國体

(三)
ふるさとの北斗と競う
聖炎の耀うひかり
オリンピックのぞみは消えず
とこしえに歡喜燃ゆる
誇らん いざ晴れの國体

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手

市営バス

柔道競技大会が
開催される八月
十三日までに三日間
の運行系統を
新設し、午前八
時から随時、直
通運行を致しま
す。

御利用下さい。
イ、駅前一會場間
口、浜町一會場間
詳細は八月十五日
発行「市政だより」
一に掲載致す

迎えよう清潔にして選手を

季節的にみても物の腐敗しやすいつきであり、伝染病を媒介する蚊、蠅等の発生が多量にあり、こうしたときに全国各地から多くの国体関係者を迎へ入れるに、特に衛生上の注意を要する。市民各位の協力を要望してあります。

☆食品取扱業者
(一) 家の内外、特に調理室の清掃及び整備をして「はえ」の発生防止を行うこと。
(二) B・H・C 又は D・D・T を散布するには、害があるから食物、食器、☆旅館業者は

(一) 便所は国体の始まる前に消毒をせよ。御協力下さい。
八月七日 家庭内の清掃
八月八日 屋外の清掃
八月九日 物置倉庫の清掃
八月十日 手の励行
八月十一日 衣類の消毒
八月十二日から八月三十一日まで 道路の清掃
手の励行

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手

役員・選手宿泊所

王子クラブ 電話一
本部役員 王子北光 電一話
本部審判員 長崎各縣選手

富士館 電話一
本部役員 道内役員及び審判員・鹿島・宮崎・大分・熊本
本部審判員 長崎各縣選手

北一旅館 電話二九七
鳥取・東京・神奈川各縣選手

越前屋旅館 電話六五三
靜岡・茨城・群馬・栃木各縣選手

新湯旅館 電話四七九
徳島・山口・広島各縣選手

三河屋旅館 電話二六二
埼玉・北海道・沖繩・福島各縣選手

丸山旅館 電話二六六
和歌山・兵庫・大阪各府各縣選手

千葉旅館 電話二九
三重・愛知・香川各縣選手

讀売新聞新社 電話一〇七
岐阜各縣選手

大岡旅館 電話一〇七
秋田・山形各縣選手

國鐵第一寮 電話二四六
長野・福井・石川各縣選手

國業パルプ 電話八五
京都・滋賀各縣選手